



院長 落合 卓  
Taku OCHIAI

日本脳神経外科専門医  
日本てんかん学会専門医指導医  
迷走神経刺激術資格認定  
機能的定位脳手術技術認定  
埼玉県公安委員会指定医

### 【理念・診療方針】

- 質の高い医療を提供するクリニック  
日々進歩する医療を積極的に取り入れ質の高い医療、無駄のない医療を提供出来るよう切磋琢磨します。
- 困ったときに頼られるクリニック  
地域に根ざし、困ったときこそ当院を思い出して頂けるようなクリニックを目指します。
- ここに安らぎを与えるクリニック  
病気のみならずここをも豊にする雰囲気のあるクリニックを目指します。
- 迅速に対応するクリニック  
不安を解消すべく迅速かつ適切な検査、正しい診断、質の高い治療をスムーズに提供致します。
- 医療連携のとれたクリニック  
近隣医療機関との専門性をいかした医療連携、並びにセカンドオピニオンなどを通し専門分野を問わず医療の質を維持することに努めます。



【アクセス】 旧クリニックより北へ直進120m

【電車】 JR武蔵野線「西浦和駅」北口（ロータリー側）徒歩1分  
駅プラットホームより看板が見えます

【車】 住所「さいたま市桜区田島5-13-16」  
駐車場10台分有り・首都高速埼玉大宮線「浦和南IC」1.5km



### 【診療時間】

|                                | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 祝 |
|--------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 09:00-12:30<br>(受付08:30-11:30) |   | ● | ● | ● |   |   | ● |   |
| 16:00-19:00<br>(受付15:30-18:30) |   | ● | ● |   |   |   |   | 休 |
| 09:00-16:00<br>(受付08:30-15:30) | ● |   |   |   | ● | ● |   |   |

\*休診などの最新情報はHPで確認下さい  
<http://www.brainconcierge.com>

医療法人社団ブレイン・コンシェルジュ

おちあい脳クリニック

〒338-0837 さいたま市桜区田島5-13-16  
<http://brainconcierge.com>

電話 (048) 710 - 7575



■2017/02 リニューアルオープン！

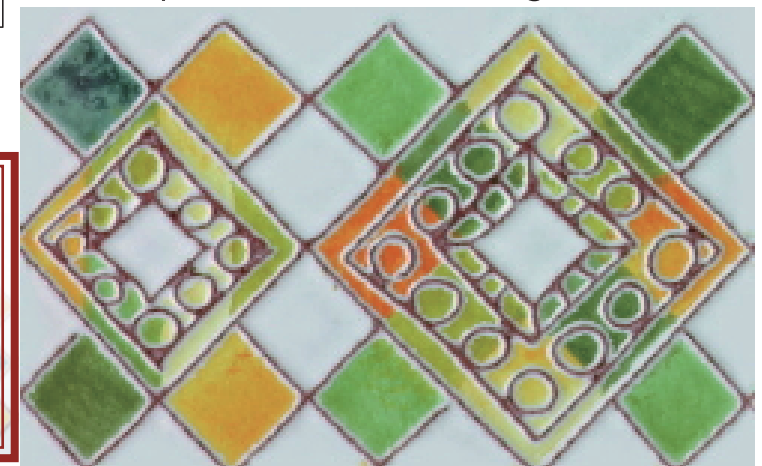
医療法人社団ブレイン・コンシェルジュ

おちあい脳クリニック



048-710-7575

<http://www.brainconcierge.com>





## ● 脳神経診療に特化したクリニック

2009年7月に開院して7年半、これまでの脳神経診療をより特化すべく診療スペースを拡大し、2017年2月西浦和駅北側に新規オープン致しました。さいたま市桜区(西浦和駅近く)で診療を行った経験を踏まえ、地域が求めるもの、当クリニックが要求に応えられるもの、そして当クリニックに不足していたものを総合的に分析判断し、これまで以上に脳神経領域において地域に貢献できるよう創意工夫致しました。

当クリニックは、脳神経一般診療と専門性をいかした機能的脳神経領域の診療を行っているのが特徴です。

### 【脳神経一般診療】

#### ■頭痛/めまい

頭痛/めまいなど脳神経一般症状に対して診療致します。これらの症状は脳卒中や脳腫瘍などの初発症状のこともあり迅速にMRIにて頭蓋内スクリーニングを行います【診療方針4】。

不安を解消すべく即日結果を説明致します【診療方針3】。

#### ■脳卒中後のフォローアップ

既に脳梗塞など患った患者様に対し、今後の予防や症状悪化を防ぐため生活習慣病指導を行い、麻痺の維持改善目的で経頭蓋磁気刺激療法を取り入れております。また脳卒中後うつ状態などにも積極的にを行っています【診療方針1・2】。

生活習慣病に対して追加治療が必要な場合は、専門機関への医療連携もスムーズに行っています【診療方針5】。

#### ■認知症

症状を問診した上で画像診断を加味し認知症の診断を行います。アルツハイマー型、脳血管型、Lewy小体型など認知症のタイプも可能な限り判別した上で投薬治療を行います。

#### ■頭部外傷

状態によっては迅速な対応が必要な場合も多く、優先順位を判断し検査を行います。頭部外傷後の対応やその後の経過で注意すべきことなど説明致します【診療方針2・4】。

## ● 機能的脳神経外科診療に特化

### ■てんかん

・有病率約1%と言われるてんかん診療を精力的に行っています。てんかん診療に必要な脳波・MRIを完備し診断だけでなく定期的なフォローアップも責任を持って行います。基本的に成人てんかん高齢者てんかんが中心ですが、鎮静が必要な小児例にも対応し、診療時間内の救急搬送にも対応致します。小児科からのキャリアオーバーも積極的に受け入れ、運転免許に対する指導、妊娠出産に対する指導も行います。

### ・内服調整

治療の中心は薬物療法で既存の抗てんかん薬、新規抗てんかん薬の特性と発作型を総合的に判断し、単剤療法から合理的他剤併用療法まで行います。

### ・外科治療

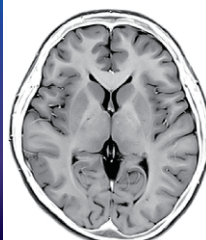
内科的治療を十分に行っても発作抑制が十分に達成できない場合、外科治療も一つの選択肢になります。ビデオ脳波検査を行い発作を捕捉し発作焦点、並びに発作伝搬経路を推測し手術適応を決定します。切除外科から緩和外科まで責任を持って対応します。

### ■パーキンソン病、ジストニアなどの不随運動

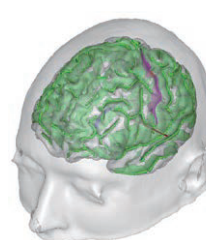
様々な不随運動疾患に対して専門のスタッフが問診からVideo撮影まで行います。また各種公的サポートや書類作成にも迅速に対応致します。

薬物治療が中心のパーキンソン病治療では、症状からそして薬の反応性から、さらに病診連携を生かした特殊検査を用い総合的に診断を行います。治療はハネムーン期を意識しながら内服調整を行い、運動合併症が著明になる前に外科治療も選択肢の一つとして提案します。運動症状改善のための多様な手術法の選択、そしてターゲットの選択など、多くの治療経験から裏付けされた術後の内服治療を想定した外科治療を提案致します。術後の医療機器調整も専門のスタッフが対応致します。

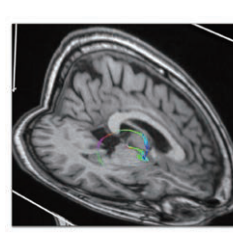
一方、ジストニアは内科的治療が確立されておらず日常生活に支障を来す不随運動にはボトックスや外科治療が優先されます。当クリニックでは脳深部刺激療法、定位的凝固術などの外科治療のみならず、経頭蓋磁気刺激を取り入れ脳の可塑性に着目し治療を行っております。



■高解像度MRI



■3Dイメージ



■トラクトグラフィー



■MRA/レンダリング

画像にはこだわりを持ちオリジナルパラメーターを用いて撮影。その画像を診察で丁寧に説明します。形態学的な評価のみならず必要に応じてfMRI、DTI/トラクトグラフィーなど機能画像も撮影します。



### ■経頭蓋磁気刺激

当クリニックの特徴的な治療法の1つです。頭皮上に刺激コイルをあて磁力を発生させ開頭なしに脳を直接刺激する治療法。入院の必要はなく外来で行う神経リハビリの一種です。現在、脳卒中後片麻痺、難治性疼痛、不随意運動(パーキンソン病・ジストニア・振戦)、精神疾患(うつ病・強迫性障害など)、てんかんなどに行っています。

### ■脳深部刺激療法

パーキンソン病・ジストニア・振戦などの不随運動改善目的に頭部にコインサイズのバーホールを空け至適部位にリードを挿入し刺激する治療法。当院では手術後の刺激調整に力を入れ密なフォローアップを行っています。

### ■高次脳機能検査

脳に損傷を負うと記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などが様々の程度で起こり、そのため日常生活または社会生活に制限がある状態を、高次脳機能障害と言います。本人に自覚が無い場合もあり、それらを客観的に評価します。

### ■ボトックス治療

眼瞼痙攣・片側顔面けいれん・頸性斜頸・痙縮などに保険適応があります。神経筋接合部で神経終末に作用し、アセチルコリン(Ach)の放出を抑制。これにより、Achを介した筋収縮が阻害され、筋の痙攣および緊張を改善します。

### ■長時間ビデオ脳波検査

てんかん患者の発作焦点を精査するため、ビデオ撮影を行いつつ脳波同時記録を行う検査法。検査中に発作が捕捉されれば、発作がどの部位から起こっているのか同定することが可能です。通常1週間程度で行うことが多いですが、当クリニックでは日帰りで検査を行います。まとまった休みが取れない方に適しています。

### ■迷走神経刺激療法

難治性てんかん患者の発作軽減目的で、2010年から保険収載されることになった緩和療法。左頸部の迷走神経に刺激電極を巻き付け小さなバッテリーを左前胸部に留置して接続します。通常2泊3日の入院で留置しバッテリーは6～9年持ちます。